第１学年　道徳科学習指導案（ユニット）

場所　１の○教室　指導者

１　単元名　　大きくなったね（９時間完了）

２　構　想

（１）子どもの実態とねらい

　１年生の子どもたちは入学以来、アサガオを育てたりバッタを捕まえて飼育したりする活動を通して、その成長を喜んだり死を悲しんだりしながら、生き物には生命があることを知り、そのかけがえのなさを理解することができるようになってきている。２学期に行った道徳の学習「こうえんのばった」では、弱ってしまったバッタを思いやり、元の草むらへ放してやった主人公の思いに共感することができた。しかしながら、そうした生命の尊さを、自分の生命と関連づけてとらえることのできる児童は少ない。それは、自分が今まさに「生きていること」は、「当たり前」なことであると考えているからだろうと思う。朝、元気に起きられること、ごはんがおいしく食べられること、友達と楽しく遊べること、こうした「生きている証」を実感し、生きていることのすばらしさに気づくことは、生命尊重の基本である。自分や友達の心臓の拍動や体温を感じたり、自分の体と心の成長を実感したりする活動を通して、当たり前に感じていた「生きている証」に気づき、生命を大切にしていこうとする心情を高めていってほしいと願う。

（２）単元計画

|  |
| --- |
| （１）「どきどきをみつけよう」（学活）　　　　　　　１ |
|  |
| （２）「小さなふとん」（道徳）　　　　　　　　　　　１ |
|  |
| （３）たのしかったよ、１年かん（生活）　　　　　　３ |
|  |
| （４）ようこそあたらしい１年生（生活）　　　　　　４ |

・自分や友達の心臓の拍動や体温を感じることで、生命を実感する。

・Ｄ　生命の尊さ

自らの成長を実感し、それを喜び、生命を大切にしようとする心情を養う。

・自らの成長を振り返って実感し、それを支えてくれた人々への感謝の気持ちをもつ。

・自分の成長の実感をもとに、新１年生を迎える準備をする。

３　本時の学習指導

（１）教材について

教材名　「小さなふとん」【Ｄ　生命の尊さ】

参考資料「きみがいちばんひかるとき」（光村図書）

内容項目「生命の尊さ」において、第１学年及び第２学年での指導にあたっては、「体にぬくもりがあり、心臓の鼓動が規則的に続いている」「夜はぐっすり眠り、朝は元気に起きられる」「おいしく朝食が食べられる」「学校に来て友達と楽しく学習や生活ができる」といった、当たり前で見過ごされがちな「生きている証」に気づかせ、実感させることが大切であると、指導要領に示されている。さらに、自分の生命に対して愛情をもって育んできた家族の思いにふれ、自分の生命そのもののかけがえのなさを自覚できるようにすることが求められる、とある。本教材「小さなふとん」は、主人公のよしこが産まれてきた弟を見て、そのかわいらしさから新たな家族の大切さや愛情を感じる、という内容である。さらに、弟が寝ているふとんに自分が寝ていたことを知り、自分も弟と同じように小さかったことや、大きくなった今ではそのふとんに寝られなくなったことなどから、自分の成長に気づくという話である。前述の指導要領に示された指導の要点を十分に満たす教材であると考える。本教材を通して、子どもたちが自分自身の「生きている証」としての自分の成長に気づき、自分やその周りに生きている人たちを大切に思う心情を養いたい。

（２）豊かな心とたくましさを育むための手だて

　①豊かな心を育むために

　・子どもたちの意識を大切にした学習課題

　教材の範読を終えた後、子どもたちに自由に感想を述べさせる。その中から、よしこと弟の成長のちがいに関するものを、学習課題に取り上げて提示する。自分たちの意見から得たテーマで話し合うことで、意欲をもって考えることができるだろう。子どもたちの意見をつなげて取り上げるため、学習課題の文言は子どもたちの意見に合わせて柔軟に対応する。

・自分事としてとらえる展開後半の学習活動

主発問の話し合いを受けて、「みつめる」学習段階で、「あなたが、大きくなったな、成長したな、と感じるのはどんなときですか。」と発問する。学習活動の前半、教材の主人公であるよしこの成長を感じ取ってきた。ここで自分自身のことに揺り戻して考えることで、よしこの気持ちに共感しながら、自らの成長、「生きている証」を実感できると考える。さらに続けて、「大きくなってきた、成長してきた自分のことを、どう思いますか。」と発問する。ここで、成長できたことへの感謝の気持ちや、さらなる成長を期待する思いを引き出して、生命を大切に思う気持ちを深めたい。

②たくましい心を育てるために

・ポートフォリオによる評価

本単元を通して、それぞれの学習で学んだり、感じたりしたことを振り返り、１枚のポートフォリオにまとめる。各ユニットの学習で感じたこと、学んだことを合わせて振り返ることで、学習を通しての自分の変容を感じつつ、道徳的価値の理解を深めることができるだろうと考える。そしてそれぞれの振り返りを朱書きで励まし、学習意欲を高めて活動をつないでいきたい。

　③21世紀を生き抜く資質を養うために

　・他教科との関連

本時の後に行う生活科での学習の様子をつぶさに観察し、励ましていく。生活科では、４月と比べて成長した自分を実感しつつ、来年新しく入学してくる新１年生を迎える準備をする。ユニットでの学習を通して獲得した道徳的価値を感じながら活動に取り組むよう声をかけ、自分や友達、新しくの生命を大切にする心情を継続的に養っていきたい。

（３）本時の目標

①　産まれた弟とふれあう主人公の気持ちを考えることで、自分が大きく成長してきたことに気づかせる。

　②　自分の成長に気づき、それを喜び、生命を大切にしていこうとする心情を養う。

（４）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 段階 | 児童の活動 | 教師の活動 |
| きづく  （３）  つかむ  （７）  ねる  （10）  みつめる  （15）  あたためる  （10） | １　写真を見て、どう思いますか。  ・赤ちゃん、かわいいね。  ・すごく小さいね。  ・笑っていて、うれしそうだね。  「大きくなること」について考えよう。  ２　お話を聞いて、どんなことを感じましたか。  ・弟が産まれてよかったね。  ・赤ちゃんは、小さくてかわいいな。  ・よしこさんは大きくなったんだね。  ・わたしもこんなに小さかったのかな。  ３　お母さんに「よしこはもうこのおふとんではねられなくなったわね。」と言われたとき、よしこさんはどんなことを思ったでしょうか。  ・こんなに小さなふとんで寝ていたんだね。  ・今じゃあ小さすぎて寝られないなあ。  ・わたしも大きくなったなあ。  ・こんなに小さかったころがあったのかな。  ・大きくなって、うれしいよ。  ４　あなたが大きくなったな、成長したな、と感じるのはどんなときですか。  ・  （体の成長）  ・着ていた服が着られなくなったよ。  ・走るのが速くなったよ。  ・漢字が書けるようになったよ。  （心の成長）  ・ちょっとがまんできるようになった。  ・お手伝いできるようになったよ。  ・友達がたくさんできたなあ。  （成長した自分をどう思うか）  ・大きくなれて、よかったなあ。  ・成長できたことに、ありがとうって思うよ。  ・これから、もっともっと大きくなりたいな。  ５　今日の学習で、わかったことを書きましょう。  ・赤ちゃん、大きくなったんだね。  ・ぼくたちも、もっと大きくなるね。  ・自分の体を大切にしたいな。  ・家族のおかげで、生きているね。  ・お父さんやお母さんをもっと喜ばせたい。 | ・授業終末で成長を感じられるようにするための、赤ちゃんの写真を提示する。  ・思ったことを自由に発言するよう促し、道徳的価値への意識を高める。  ・学習テーマ「大きくなること」を板書する。  ・教材を範読する。  ・児童の多様な思いを引き出すために、感想を自由に発言するよう促す。どのような感想も共感し、受容する。  ・簡単に内容を振り返る。  ・児童の意見から、本時の学習課題につなげて提示する。（手だて①）  ・主人公の気持ちに近づくために、実物のふとんと赤ちゃんの人形を提示し、実際に横で寝てみるよう促す。  ・小さな弟や妹がおり、同じような経験をしていそうな児童を意図的に指名する。  ・意見の内容をより分かりやすくとらえさせるために、出された意見は、体の成長、心の成長に分類、整理して板書する。  ・生命の実感をより深めるために、「大きくなった、成長した自分をどう思いますか。」と問う。（手だて①）  ・「ありがとう」という意見が出たら、「だれにありがとうかな」「どうしてありがとうかな」と切り返し、周りの人達の思いに気づかせる。  ・導入で示した赤ちゃんの成長過程を提示する。  ・立派に成長することが、自分の生命を大切にすることであり、それこそが家族や周りの人たちの願いであると、説話を通して伝える。  ・学習の振り返りを書かせる。  ・学んだこと、感じたことを素直に表現できた児童を称賛し、意見発表を促す。 |

（５）評　価

①　弟とふれあい、自らの成長を実感し、喜びを感じているよしこの気持ちに共感することを通して、自分の成長を実感することができたか。（活動３、活動４の発言から）

　②　産まれてから今までに心も体も大きく成長し、できることが増えてきた自分への気づきを通して、自分の生命を大切にしようとする気持ちを深めることができたか。

（活動４の発言、活動５の記述、その後のユニットでの学習活動の様子から）

４　板書計画

「大きくなること」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（大きくなったな、せいちょうしたな）

　　　　　　　　　　□こんなに小さなふとんでねていたんだね

　　　　　　　　　　□いまじゃあ小さすぎてねられないなあ　　　　　　　　どう　　　おもう？

　　　　　　　　　　□わたしも大きくなったなあ

　　　　　　　　　　□わたしもこんなに小さかったのかな

「よしこはもうこのおふとんではねられないわね。」といわれたよしこはどんなことをおもったでしょう

しゃしんを見て…

□赤ちゃん、かわいいね

□すごく小さいね

□わらってるね

□うれしそうだな

写真

赤ちゃん

写真

小学生

写真

大人

こころ

からだ

場面絵

母とよしこ

場面絵

よしこと弟

□ふくがきられなくなった　　□がまんできるようになった

□はしるのがはやくなった　　□お手つだいできるようになった

□かん字がかけるようになった　□ともだちがたくさんできた

□大きくなれてよかったなあ

□ありがとう　←だれに？　どうして？

□もっともっと大きくなりたいよね